

令和3年度愛知県相談支援従事者現任研修カリキュラム

開催日	時間	科目	獲得目標	内容	講師
合同講義 5月21日～6月14日オンライン配信		0.3 ガイダンス	相談支援専門員がソーシャルワークの担い手として必要な、地域を基盤としたソーシャルワーク実践が行える技術を身に付けるため、本研修における獲得目標等、研修全体の構造を理解して受講することで、研修効果を高める。	①本研修の獲得目標、科目概要及び科目間の関連性、研修の進め方。 ②演習時に使用する事前課題の記述方法について。	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 小島 一郎氏
		1.5 障害福祉の動向(地域生活支援事業を含む)	①障害福祉施策及び関連施策に関する最新の動向を理解する ②地域生活支援事業に関連する事例を分析し、専門的な支援が必要な事例の支援方法を学ぶ。	①障害福祉施策の他、介護保険制度、生活保護、年金、医療、労働等、関連施策の最新の動向について理解する。 ②地域生活支援事業の事業内容について、事例を通してその事業の活用方法を理解するとともに、専門的な支援が必要な事例の支援方法を検討する。	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 小島 一郎氏
		1.0 個別相談支援(相談支援の過程における意思決定支援を含む)	相談支援の基本姿勢等を再確認するとともに、個別の相談援助技術と地域援助技術の役割とそのつながりについて理解する。相談支援の各局面の機能や意思決定支援の展開を理解し、実践できていたかを確認する。	①本人を中心とした支援における個別の相談支援の基本姿勢について再確認する。 ②インテークやアセスメント、モニタリングの方法や相談支援における意思決定支援の展開について。	(NPO法人)ふいーる工房 新井 在慶氏
		1.0 チームアプローチ	多職種・多機関の連携、サービス担当者会議の展開方法、チームにおける意思決定支援について理解する。	本人の生活の場で展開される援助・援助対象の拡大、予防的かつ積極的アプローチ、多職種連携ネットワークなどについて講義を行う。	(社福)豊川市社会福祉協議会 松井 伸夫氏
		1.0 コミュニティワーク	個別課題や地域課題として捉え、地域とのつながりの必要性や地域資源の活用方法、自立支援協議会や地域ネットワークを通して地域資源の改善や開発における一連の展開方法について理解する。	具体例として、自立支援協議会を活用した個別事例の支援から地域課題の把握、価値観の共有、課題の解決に向けた地域づくりや資源開発のための協議、地域への働きかけや政策提言に至る一連のプロセスと相談支援専門員の役割について解説する。	(社福)半田市社会福祉協議会 前山 憲一氏
		1.5 スーパービジョンの理論	相談支援専門員の人材育成方法として経験から学ぶ省察的思考の重要性について理解する。具体的な実施方法として事例研究及びスーパービジョンの理論と方法について理解する。	事例研究などによる経験から学ぶ省察的思考の重要性とその効果を高めるスーパービジョンの役割について講義を行う。	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 小島 一郎氏
演習1日目 6月15日 6月16日 6月24日	9:30～12:00	1.0 個別相談支援(講義)	本人を中心とした個別の相談支援の実践に必要な相談支援の技術について説明できる。自身の個別の相談支援実践について振り返り、維持・向上すべきことに気づく。個別の相談支援の実践例を振り返り、検討することで個別相談支援の能力の向上を図る。	個別の相談支援における関係性の理解、自己尊重などについての自己覚知を行い、信頼関係の構築、意思決定支援(本人を中心とした支援)、モニタリングの機能について再確認し理解を深める講義を行う。	(NPO法人)ふいーる工房 新井 在慶氏
		1.5 個別相談支援(演習)	本人を中心とした個別の相談支援の実践に必要な相談支援の技術について説明できる。自身の個別の相談支援実践について振り返り、維持・向上すべきことに気づく。個別の相談支援の実践例を振り返り、検討することで個別相談支援の能力の向上を図る。	名刺交換・自己紹介・役割分担 全体進行によるワークの説明 事例の読み取り(黙読) 事例の発表・質疑応答・提案 * 課題として整理した内容に沿って事例を説明し、質疑応答・提案を行う。 * 特に、権利擁護(意思決定支援)やエンパワメントの視点を意識する。	(NPO法人)ふいーる工房 新井 在慶氏 (全体進行)
	12:00～13:00	休憩			
	13:00～15:30	2.5 個別相談支援(演習)	本人を中心とした個別の相談支援の実践に必要な相談支援の技術について説明できる。自身の個別の相談支援実践について振り返り、維持・向上すべきことに気づく。個別の相談支援の実践例を振り返り、検討することで個別相談支援の能力の向上を図る。	(午前中の続き)	(NPO法人)ふいーる工房 新井 在慶氏 (全体進行)
	15:40～16:35	0.9 実習課題への取組(チームアプローチ)	チームアプローチの視点を踏まえ、自分の事例に対する理解と気づきを得る。	インターバル期間で取り組む課題実習とワークの説明 インターバル報告書の作成	主任講師
	16:35～16:55	0.3 まとめ		2日目の振り返りと3日目へのつながりについて説明する。	(NPO法人)ふいーる工房 新井 在慶氏 (全体進行)
	16:55～17:10	その他・伝達事項		次回の課題の確認等	主任講師 県職員
演習2日目 7月13日 7月14日 7月19日	9:30～12:00	1.0 チームアプローチ(講義)	他の多様な職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組織し、円滑に機能させるための技術の向上を図る。	利用者及びその家族の支援に対し、チームアプローチの意義を再確認するとともに、チームマネジメントの技術を向上させるための講義を行う。	(社福)豊川市社会福祉協議会 松井 伸夫氏
		1.5 チームアプローチ(演習)	他の多様な職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組織し、円滑に機能させるための技術の向上を図る。	実習課題として取り組んだ内容を発表し、共有する。 全体進行によるワークの説明 課題(チームアプローチ・エコマップ)の発表 質疑応答・提案	(社福)豊川市社会福祉協議会 松井 伸夫氏 (全体進行)
	12:00～13:00	休憩			

開催日	時間	科目	獲得目標	内容	講師	
	13:00～15:30	2.5	チームアプローチ(演習)	他の多様な職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組織し、円滑に機能させるための技術の向上を図る。	(午前中の続き)	(社福)豊川市社会福祉協議会 松井 伸夫氏 (全体進行)
	15:30～16:35	1.0	実習課題への取組(コミュニティワーク)	コミュニティワークの視点を踏まえ、自分の事例に対する理解と気づきを得る。	インターバル期間で取り組む課題実習とワークの説明 インターバル報告書の作成	主任講師
	16:35～16:55	0.3	まとめ		3日目の振り返りと4日目へのつながりについて説明する。	(社福)豊川市社会福祉協議会 松井 伸夫氏 (全体進行)
	16:55～17:10		その他・伝達事項		次回の課題の確認等	主任講師 県職員
演習3日目 8月10日 8月11日 8月25日	9:30～12:30	1.0	コミュニティワーク(講義)	地域をつくる相談支援の実践に必要な価値、知識、技術についての理解を深める。自身の地域をつくる相談支援実践について振り返り、維持・向上すべきことに気づく。地域を作る相談支援の実践例を活用し、検討することで地域援助の能力を獲得する。	利用者の個別のニーズから地域課題を見出し、地域課題の解決に向けて、利用者個人を支える地域をつくるための地域への働きかけや地域支援ネットワークの構築と活用方法の理解を深めるための講義を行う。	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 小島 一郎氏
		2.0	コミュニティワーク(演習)	地域をつくる相談支援の実践に必要な価値、知識、技術についての理解を深める。自身の地域をつくる相談支援実践について振り返り、維持・向上すべきことに気づく。地域を作る相談支援の実践例を活用し、検討することで地域援助の能力を獲得する。	実習課題として取り組んだ内容を発表し、共有する。 全体進行によるワークの説明 「地域の状況シート」及び課題(コミュニティワーク)の発表 質疑応答・提案 全体共有	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 小島 一郎氏 (全体進行)
	12:30～13:30		休憩			
	13:30～15:50	2.3	グループスーパーバイズ(講義・演習)	グループスーパーバイズ(GSV)の経験を通して、GSVの必要性、そのための技術としてのファシリテーションについて理解する。	ワークの説明 事例選定 再アセスメント プランの提案 * ストレngthsに着目して本人の希望に近づくアイデアを出す。	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 小島 一郎氏 (全体進行)
	15:50～17:00	1.1	グループスーパーバイズ～協議会の活用(演習)	グループスーパーバイズを経験することにより、相談支援の質を確保する方法を理解する。	社会資源へのアクセス 協議会の活用 * 検討した取組について、協議会へのつなぎ、関わりを検討する	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 小島 一郎氏 (全体進行)
	17:00～17:15	0.3	まとめ		サービス利用計画の作成、社会資源開発への活かし方など、研修の総括を行う。専門コース別研修など今後のスキルアップの見通しについても触れる。	(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団 小島 一郎氏 (全体進行)
	17:15～17:25		閉校式・机の移動			